

「心豊かで、よく考え活動し、たくましく生きる力の基礎を身に付ける子ども」の育成
 ○つよく・・・明るく健やかなたくましい子ども(体) ○やさしく・・・生き生き活動し考える子ども(知) ○ありがとう・・・心豊かな子ども(徳)

【本年度の教育重点目標】

【幼稚園部】 ①自然に親しませ、直接体験を味わい、豊かな感性・思考力の芽生えを培う。②子ども自ら仲良く遊び楽しさを味わうための環境や援助の工夫 ③行事や活動を通して達成感をもつことができる保育をめざす④感じたことを自分なりに表現する力を育て、豊かな感性をはぐくむ。【保育部】 ①子どもが快適で安全に過ごせる環境を整え、健康に過ごすことができるようにする。②生活に必要な習慣を身に付け、きまりを守って行動できるよう育てる。

【本年度の運営・保育の重点】

◎ 認定こども園としての安心・安全な体制づくり（1年目）

【幼稚園部】 子ども自ら仲良く遊び楽しさを味わうための環境や援助の工夫

○栽培活動や自然体験を通して身近な野菜や季節の植物に親しむ。 ○友達や先生と安心して関わり、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。 ○基本的生活習慣を身に着け、自分でしようとする気持ちを育む。

☆自然・直接体験

☆友達と「遊ぶ」援助・支援や環境づくり

☆達成感をもつ行事や活動

☆

【年長】

- 様々な体験を通して、自然の恵みに感謝できる
- 友達と協力しながら遊びを広げる
- 成功や喜びを自信に繋げられる
- 感じたことや思ったことを、自分なりの言葉や表現で伝える

【年中】

- 野菜や花の栽培を通して自分で変化に気付き成長を楽しみにできる
- 友達と協力したり、思いを伝え合ったりしながら遊びを楽しむ
- 1つの目標に向かって頑張りと達成感を感じる
- 自分で考えたことや感じたことを、友達や教師に言葉で伝える

【年少】

- 身近な自然に親しみ、見たり触れたりしながら興味や関心をもって遊ぶ
- 簡単な約束や順番を知り、友達と仲良く遊ぼうとする
- 経験を通して自信をもち「またやってみたい」という意欲を育む

【縦割り預かり】

年齢の異なる子ども達と同じグループで生活・遊び・活動することで、社会性や思いやりを育てる。

○社会性

○思いやり・共感性

○自立心

○多様な学び

【保育部】 子どもが快適で安全に過ごせる環境を整え、健康に過ごせるようにする

- 一人ひとりの生活リズムや発達に合わせた環境を整え、安心して過ごせるようにする。
- 安全で清潔な保育環境を維持し、事故や感染症の予防に努める。
- 季節や対象の変化に配慮し、基本的生活習慣を身に付けながら健康な心身を育む。

☆習慣

☆安全に過ごせる環境づくり

☆健康に過ごせる衛生面の整備

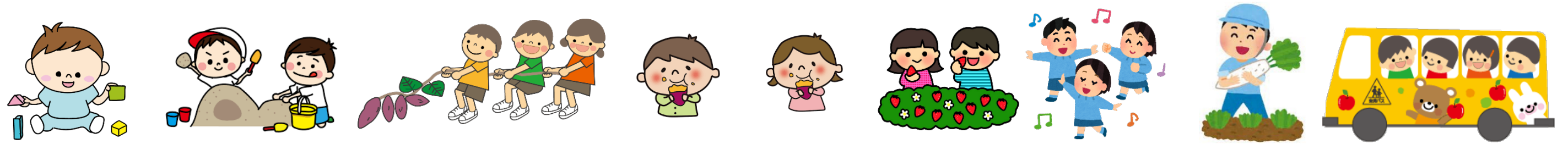
【0、1歳児】

- ・保育士との信頼関係をつくる
- ・自然と関わり五感を育む
- ・思いを伝えようとする
- ・いろいろな味に慣れ食べる楽しさ

【2歳、満3歳児】

- ・保育士との安定した関わり
- ・友達と一緒に遊ぶ
- ・全身や指先を使って楽しむ
- ・自然に親しみ関心をもつ





自然の中でのびのび、あそび、まなぶ幼稚園

【特色ある「こども園」の取り組み】

【チーム保育】

- きめ細かな保育を目指し、子どもに応じた支援の工夫
・担任代理 ・気になる子の加配 ・環境支援 等

【ひよこクラブー未就園児クラスー】

- 幼稚園で楽しい時を過ごすことにより、入園への期待につなげる。
- 挨拶、手洗い、片付け、排泄など生活習慣の自立を図るための手助けをする。
- 親と子の関わり方を教師に尋ねると共に、親同士で考え、子育てへの不安を解消する。
(対象・・・満1歳児から幼稚園未就園児、月2回程度の

【こどもだれでも通園】

- 全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を行う。

(子どもの成長から)

- ・家庭とは異なる経験や、地域に初めて出て行って家族以外の人と関わる機会が得られる。

(保護者にとっての意義)

- ・こどもへの保育者の接し方を見ることにより、こどもの成長の過程と発達の現状を客観的に捉えられるなど、保護者自身が親として成長することができる。

(福岡市型「こどもだれでも通園」)

- ※福岡市在住者・・・月40時間利用可、
糸島市在住者・・・月10時間利用可

【園庭開放】

- 未就園児を対象に、開放時間内に園庭の遊具で自由に遊ばせ、子どもとその保護者が、楽しく過ごし、子ども、園、家庭のつながりをつくる。
・子どもの社会性の育成 ・身体の発育促進 ・保護者同士の交流

【ニーズに合った幼稚園へ】

- 子どもや園を補助し、保護者同士の交流を図る「ひまわり会」活動
- 園の行事や活動、給食、子どもの様子を伝える Instagram やホームページ
- 登降園をチェックする「コドモン」、園での様子を伝える「ルクミー」出欠やバスの乗降を保護者から園へ伝える「LINE」システム
- 保護者等支援するママビクス、子育て相談

【地域の食材を使った安心・安全な給食】

- 先生や友達と食べることを楽しみ、食物への興味や関心をもつ

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| (0歳児) 食べたいという意欲の形成 | (1歳児) 自分で食べたい意欲を育てる |
| (2歳児) 食事のマナーに気付く | (3歳児) 一人できちんと食べる |
| (4歳児) 食事のマナーを守りながら楽しく食べる | (5歳児) 食事をすることを自覚をもち食べる |
- 留意したいこと- 医師の診断書と指示書をもとに個々の食物アレルギーの状況を把握する。(エピペン研修等)
 - ・地元(元岡・糸島)の食材を活用する・食に関する研修に積極的に参加する。
 - ・献立作成と帳簿のシステム化を図る。

【健康で安全に過ごす園生活の確保】

ーけがのヒヤリ・ハットの取組を基にした取組ー

- ①教職員の危機管理能力を高め、安全確保に努める。(朝の健康観察の確実な報告、怪我・事故発生報告ノートへの確実な記録、月ごとの集計・分析、結果の共有を基にした学年ごとの話し合いと対策の実践)
ー乳児幼児の心と体を育む保健計画の作成と実施ー危機管理マニュアルの見直しー
- ①安全に自然体験を味わわせる園外行事の充実(事前の下見、計画書の提出、実践後の反省と記録の集約)
- ②保育部を含んだ危機管理マニュアル、送迎バスによる登降園時の安全管理マニュアル内容の徹底、不審者対応マニュアルの作成等